

搜

沖繩作戰
ニ於ケル

搜索牙辛四聯戰史資料

昭和三十三年三月五日
第三軍殘務處理部

第一部隊履歴の概要

昭和十四年

東安省密山ニ新設同地附近の防衛

騎兵第三師團隊日露戦役時永沼挺身騎

兵隊あり

十五年

搜索第三師團隊ニ改稱

同年十日完達山脈中、匪賊討伐に参加

昭和十九年

四月口境警備の爲大橋ニ移動口境警備

及び同地附近の警備

育頃

戦車連射砲隊南銃中隊動員下令より海留出發

育頃

動員下令より海留(十三日)動員完就

育頃

駒長地海留市道東向出發 二十三日下関到着

八月一日

下関市前八月五日平瀨本島即西箱上陸

右部隊損傷大にして、才一隊防禦困難なるを以て、小部隊才一
線に出勤部隊は

四月廿三日 大森に駐進軍日陸上及び海上より斬込を敢行すこと共に

五月十日 才田附近の敵擾亂の爲に才一中隊ニ少隊を襲

五月廿日 節田命令にて群々、右側河街の特別編成才大隊

判書院

(大隊長) (三三三) 部隊長(我)部隊長の指揮下にハ

五月廿日 特別編成大隊増強の爲に後部擲弾倉隊配属

五月廿日 群々、嶽ニ於て敵の専攻東を受て大隊の損害丈同敵

に對し才一隊復襲を行つ同地確保

五月廿日 才二中隊及び高程機銃隊到着、才一中隊と交代大隊

の残部と同地配備連日敵の攻東を受つこと同地を準備

五月廿日 軍命令に依り同地撤放各部隊に復り島尻直ぐ

平野に撤退ス

四月三期

陣地の増強と共に進出隊と派遣す

六月十日 八重瀬島占領の敵に對し才一中隊擾亂復襲ス

六月十七日 (七三三) 才一隊隊内機銃隊及才一中隊の一小

隊陣地配備同日午九時量程敵東十六輛を基幹とする

敵の攻東を受け敵戦果の損害大道に聯隊主力同地

に急行 言地一帯に吹きまゝに火燭放射して近代兵器に聯隊

は全滅にハス 同夜十一時脱出部隊東部を歸還せる

若し隊長以下重軽傷者令せて平野に

六月廿日 残存兵力を以て才一隊地同宿に後退ス

六月廿日 復陸下萬歳と三鳴部隊解散

青三言朝射垣^新の敵に危戦中後手當より進入し
来此の敵の手指強及ぬ火燭放射より射隊長
戦死す